

情報システムユーザースキル標準 (UISS)
(05)プロジェクトマネジメント
(研修ロードマップ)

2009. 03

社団法人日本情報システム・ユーザー協会
情報システムユーザースキル標準センター

独立行政法人 情報処理推進機構
経済産業省

- 1. 研修コース体系図----- (05)-2
- 2. 研修コース一覧----- (05)-3
- 3. 研修コースの内容----- (05)-4

研修コース体系図 (05)プロジェクトマネジメント

 = 当該領域研修コース
  = 他の領域研修コース

	初級	中級	上級	特論
テクノロジー	プロジェクトマネジメント ツールとプロセス	実践アーンドバリューマネジメント (EVM)		
マネジメント	プロジェクトマネジメント初級	プロジェクトマネジメント実践	プロジェクトマネジメント上級	プロジェクトマネジメント 最新動向
ストラテジ		プロジェクトマネジメント 方法論(システム開発)		

研修コース一覧 (05)プロジェクトマネジメント

分類	コース名	研修方法			研修期間		ページ	備考 (参照先)
		eラーニング	講義	ワーク ショップ	eラーニング (標準時間)	クラス (標準日数)		
初級	プロジェクトマネジメント初級	○	○	○	6 時間	1 日間	(05)-4	
	プロジェクトマネジメント (ツールとプロセス)		○	○		1 日間	(05)-5	
中級	プロジェクトマネジメント実践		○	○		2 日間	(05)-6	
	実践アーンドバリューマネジメント (EVM)		○	○		2 日間	(05)-7	
	プロジェクトマネジメント方法論 (システム開発)		○	○		2 日間	(05)-8	
上級	プロジェクトマネジメント上級		○	○		2 日間	(05)-9	
特論	プロジェクトマネジメント最新動向	○	○		6 時間	1 日間	(05)-10	

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>プロジェクトマネジメント初級</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input checked="" type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、ISのプロジェクトマネジメントについて、上司の指導の下または一定程度であれば独力でその基礎的な作業ができる基本的な知識の修得を目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プロジェクトマネジメント実践の前提知識を得るコースである ○ プロジェクトライフサイクル、組織体制の基本概念、プロジェクトの主なプロセスを修得する ○ プロジェクトマネジメントに必要な文書作成技能（標準様式、記載上のポイント）も学習する
受講対象者	<p>上司の指導の下または一定程度であれば独力で、ISのプロジェクトマネジメントができることを目指す者</p>
研修方法	<p>講義およびワークショップ（一部をeラーニングとしてもよい）</p>
研修期間	<p>標準日数 1日（クラスルーム）、標準時間 6時間（eラーニング）</p>
スキル修得目標	<p>ISのプロジェクトについて、上司の指導の下または、一定程度であれば独力でプロジェクト管理に関する下記のことができる</p> <p>プロジェクト全工程を理解し、プロジェクトマネジメントができる</p> <p>プロジェクトに必要な実務手続きを行える</p>
関連知識	<p>プロジェクトのライフサイクル</p> <p>プロジェクトの編成</p> <p>プロジェクトマネジメントのプロセス群（立ち上げ、計画、実行、終結）</p> <p>プロジェクトマネジメントオフィス</p> <p>リスク管理</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>プロジェクトマネジメント(ツールとプロセス)</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input checked="" type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、ISのプロジェクトマネジメントについて、上司の指導の下または一定程度であれば独力でその基礎的な作業ができる基本的な知識の修得を目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市販のプロジェクト管理ツールに関する機能概要や操作方法を学ぶ ○ プロジェクト管理ツールを通じて、要員管理、進捗管理、変更管理などを学ぶ ○ 学習対象とするツールやテーマなどによっては研修形式や研修期間の変更が必要である
受講対象者	上司の指導の下または一定程度であれば独力で、ISのプロジェクトマネジメントができることを目指す者
研修方法	講義およびワークショップ
研修期間	<p>標準時間 1日(クラスルーム)</p> <p>ただし、実際には研修対象とするツールあるいは業務プロセスを規定する企業毎に必要とする所要時間は異なる</p>
スキル修得目標	<p>ISのプロジェクトについて、上司の指導の下または、一定程度であれば独力でISのプロジェクト管理に関する下記のことができる</p> <p>一般的なプロジェクト管理ツールの概要を理解する</p> <p>プロジェクト管理ツールを活用してプロジェクト管理を円滑に行える</p>
関連知識	<p>プロジェクトマネジメントに係る一般的な業務手続き</p> <p>プロジェクトマネジメントに必要な企画書などに関する標準的な記述様式</p> <p>市販のプロジェクト管理支援ソフトウェア</p> <p>(機能例) プロジェクト計画、問題点発生時の対応手順、各種管理要素の初期計画値、計画変更管理、進捗管理、資源管理、費用管理、品質管理、組織要員管理、調達管理、リスク管理など</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>プロジェクトマネジメント実践</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input checked="" type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、ISのプロジェクトマネジメントについて、独力ですべてのプロジェクトマネジメントに関する作業ができる応用的な知識の修得を目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 演習と事例研究により補強し、より実践的な知識へとステップアップする。 ○ 事例研究を交え、ワークショップ形式で実践的に学習する
受講対象者	すべて独力で、ISのプロジェクトマネジメントができることを目指す者
研修方法	ワークショップ
研修期間	標準日数 2日(クラスルーム)
スキル修得目標	ISのプロジェクトについて、独力ですべてのプロジェクトマネジメントができる
関連知識	<p>プロジェクトライフサイクル／体制整備(ライン型組織、マトリックス型組織、TRM(役割分担)など プロジェクトマネジメントのプロセス群</p> <ul style="list-style-type: none"> - 立ち上げ(企画書作成、申請と説明、など) - 計画(スコープ、スケジュール、資源、組織要員、調達、費用、品質保証、リスク管理、プロジェクト計画書作成、など) - 実行(実行管理、監視と追跡、問題管理、工程完了評価、状況報告、進捗管理、資源管理、組織要員管理、調達管理、費用管理、品質管理、リスク管理、変更管理など) - 終結(終了状況の確認、完了報告書、完了報告、完了後の評価など) <p>プロジェクト管理要素</p> <ul style="list-style-type: none"> - スコープ(範囲)、コミュニケーションマネジメント、タイムマネジメント、コストマネジメント、品質マネジメント、人的資源マネジメント、リスクマネジメント、調達マネジメント、統合マネジメント <p>プロジェクトマネジメントオフィス</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>実践アーンドマネージメント(EVM)</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input checked="" type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、ISのプロジェクトマネジメントについて、独力ですべてのプロジェクトマネジメントに関する作業ができる応用的な知識の修得を目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アーンドマネージメントに関する管理技法の修得を目的とする ○ アーンドマネージメントを実践的に修得する
受講対象者	すべて独力で、ISのプロジェクトマネジメンができることを目指す者
研修方法	講義およびワークショップ
研修期間	標準時間 2日(クラスルーム)
スキル修得目標	<p>ISのプロジェクトについて、独力ですべてのプロジェクトマネジメントができる下記のスキルを修得する</p> <p>アーンドマネージメントの実践的に活用する</p>
関連知識	<p>プロジェクトマネジメントに係る一般的な業務手続き</p> <p>スケジュール管理手法（例）ガントチャート、WBS、PERT、CPMなど</p> <p>コストマネジメント</p> <p>プロジェクト進捗管理</p> <p>パフォーマンス推定法</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>プロジェクトマネジメント方法論(システム開発)</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input checked="" type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、ISのプロジェクトマネジメントについて、独力ですべてのプロジェクトマネジメントに関する作業ができる応用的な知識の修得を目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報システム開発の基礎的な開発方法論、ツール、技法などを学習する ○ 発注者あるいは開発者管理者に必要な管理知識も学習する ○ 事例を交えて実践的に学習しても良い
受講対象者	すべて独力で、ISのプロジェクトマネジメントができることを目指す者
研修方法	講義およびワークショップ
研修期間	標準日数 2日(クラスルーム)
スキル修得目標	<p>ISのプロジェクトについて、独力ですべてのプロジェクトマネジメントができる下記のスキルを修得する</p> <p>システム開発に関する各種技法を理解して、システム開発プロジェクトの全体概要を掴める</p> <p>プロジェクトマネージャーとしてITソリューションの設計、開発管理をリードできる</p>
関連知識	<p>スケジュール管理・進捗管理技法（例）WBS、EVMSなど</p> <p>プロジェクト組織の編成方法（例）ライン型組織、マトリックス型組織、TRM(役割分担)など</p> <p>プロジェクト内の情報共有方法（例）コミュニケーション体制、コミュニケーション支援ソフトウェアなど</p> <p>システム開発方法（例）ウォーターフォール、プロトタイプングなど</p> <p>システム開発形態・契約（例）アウトソーシング、請負、準委任、SLAなど</p> <p>システム開発技法（例）パッケージソフト、システムアーキテクチャ、SOA、ERPなど</p> <p>システム開発の調達方法（例）RFP(入札形式)など</p> <p>システム開発の見積もり手法（例）ファンクションポイント法、類似見積もり法など</p> <p>システム開発のテスト（例）結合テスト、総合テスト、システムテスト、運用テストなど</p> <p>システム開発のリスク分析手法（例）リスクの定量・定性分析、デシジョンツリなど</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>プロジェクトマネジメント上級</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input checked="" type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、ISのプロジェクトについて、プロジェクトマネジメントの作業の仮題の発見と解決をリードできる指導・管理できる高度かつ専門的な知識の修得を目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「プロジェクトマネジメント実践」にて修得した知識および実践力をもとに、管理要素に関する各知識の深化を目指す ○講義形式でプロジェクトマネジメント理論と技法を確認し、必要に応じてグループワークや討議を行う (討議のテーマとして事例を活用するなどの工夫があっても良い)
受講対象者	ISのプロジェクトマネジメントを指導または管理する立場を目指す者
研修方法	講義およびワークショップ
研修期間	標準日数 2日(クラスルーム)
スキル修得目標	ISのプロジェクトについて、指導または管理する立場をプロジェクトマネジメントができる
関連知識	<p>プロジェクトライフサイクル／体制整備(ライン型組織、マトリックス型組織、TRM(役割分担)など プロジェクトマネジメントのプロセス群</p> <ul style="list-style-type: none"> - 立ち上げ(企画書作成、申請と説明、など) - 計画(スコープ、スケジュール、資源、組織要員、調達、費用、品質保証、リスク管理、プロジェクト計画書作成、など) - 実行(実行管理、監視と追跡、問題管理、工程完了評価、状況報告、進捗管理、資源管理、組織要員管理、調達管理、費用管理、品質管理、リスク管理、変更管理など) - 終結(終了状況の確認、完了報告書、完了報告、完了後の評価など) <p>プロジェクト管理要素</p> <ul style="list-style-type: none"> - スコープ(範囲)、コミュニケーションマネジメント、タイムマネジメント、コストマネジメント、品質マネジメント、人的資源マネジメント、リスクマネジメント、調達マネジメント、統合マネジメント <p>プロジェクトマネジメントオフィス</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>プロジェクトマネジメント最新動向</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 ■特論
コースのねらい	<p>当コースは、ISのプロジェクトマネジメントを継続して実施するため、プロジェクトマネジメントの最新動向に関する知識の修得を目的とする。</p> <p>○ プロジェクトマネジメントについて、例えば以下項目を学習する</p> <ul style="list-style-type: none"> - 最新ニュースやトピックス - 先進的な技術領域やビジネス領域に対するプロジェクトマネジメントの考え方 - 企業経営者から求められるプロジェクトマネジメント - 最新事例の研究 など <p>○ 毎年一回程度を目安にeラーニング形式で学習する。</p>
受講対象者	ISのプロジェクトマネジメントに関する最新動向の修得を目指す者
研修方法	eラーニングまたは講義
研修期間	標準日数 1日(クラスルーム)：標準時間 6時間(eラーニング)
スキル修得目標	ISのプロジェクトについて、最新動向に基づいたプロジェクトマネジメントができる。
関連知識	<p>最新プロジェクトマネジメント動向(新しい管理手法、新しい管理ツール、各種ガイドラインの改訂など)</p> <p>最新技術動向(最新のプロジェクト管理ツールの動向の把握、など)</p>